



萩東中だより



2019年
7月5日

〒758-0025 萩市土原556番地 TEL0838(25)2721 FAX0838(25)3721
e-mail hagigashi-jh@edu.city.hagi.lg.jp

NO.7

教員にはなれるけれど、教師になるのは難しい

6月19日から21日までの3日間、香川県高松市で行われた中国・四国中学校長研究会に参加しました。その最終日に行われた記念講演でのお話が、私にはとても印象深いものでした。

講師は、山梨学院大学スポーツ科学部教授の上田誠仁（うえだまさひと）氏です。箱根駅伝33回連続出場、あるいはいち早く外国人留学生を起用したことで有名な、山梨学院大学陸上部の名将、上田監督と言った方がわかりやすいですね。

「遙かなる夢に向かってー限りなき挑戦ー」という演台で、上田監督が、個の力とチームの力を引き出すために、指導者として常に大事にしていることをお話しされました。その講演の中に出てきた、特に「なるほど」と思ったフレーズをいくつか紹介します。

☆何にも咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。

（記録が伸びない、結果が出ない時こそ、しっかり基礎を固めることが成長の糧になる。）

☆つま先を夢の方向からそらすな。方向がずれているとチャンスはわき腹をすり抜けていく。

（自分の夢に正直に向き合うこと。自分から夢をあきらめてはいけない。）

☆過去は変えることができないが、未来を変えることはできる。

（失敗を重ねて人は成長していく。現在は過去の結果であり未来の原因である。）

☆ゴールテープを切った次の一歩が大切である。

（ゴールした瞬間今年のレースは終わり。次の一歩は来年のレースに向けた最初の一歩。）

☆状況の厳しさは不可能を測る物差しではない。智恵と勇気を喚起するカンフル剤だ。

（アクシデントに遭ったときこそ、強さが発揮できる人になれ。）

これらの言葉はすべて、上田監督が駅伝選手を育成するにあたって残した名言ですが、スポーツに限らず、教育の場面においてもすべて当てはまる言葉です。スポーツも教育も人を育てるために大切なことは同じだなと実感しました。

そして最後に、「教員にはなれるけど、教師になるのは難しい」と話され講演を締めくくられました。この言葉の意味をもう一度しっかり考えながら、教師としての自分を見つめ直してみようと思います。
(校長 網本徳文)

「命を守る行動を！」悪天候時の登下校について

梅雨の季節に入り、大雨や雷雨等の危険が高まっています。登下校については、以下のように「安全第一」で対応していきたいと考えております。各御家庭でもご理解・ご指導をよろしくお願いいたします。



○ 登校時（警報の有無にかかわらず）

- ・雨や雷が激しいときや、道路の冠水がひどいときは、自宅で待機させてください。今後の気象情報や通学路の状況をよく把握され、安全が確認できた後、登校させてください。

○ 下校時（警報の有無にかかわらず）

- ・原則、警報が発令されれば、学校で待機させます。状況によっては、保護者にお迎えをお願いすることも考えております。また、警報が発令が予測される場合は、早めに帰宅させることもあります。その場合は、まちcomiメール等を活用し、情報提供いたします。

令和初の生徒総会行いました

6月18日（火）に生徒総会を開催しました。「生徒総会」とは、本校生徒全員で組織する生徒会において最高決議機関であり、重要な事項について決議する会です。（萩東中学校生徒会会則 第3条、第12条より）今年度の主な議題は、「大きな声で校歌を歌う」、「時間厳守」でした。各学年から多くの意見が出され、活発な協議が進められました。また、本年度の生徒会スローガンは「Never give up ～最高の挑戦を～」に決定しました。これから生徒会を中心に、よりよい萩東中学校を築いてくれることを期待しています。



↑ 執行部員が提案している様子



↑ 集計している様子



↑ 多数決をとっている様子

7月の生徒集会、全校生徒の心が一つになりました！

7月1日（月）に、生徒集会を開催しました。今回は、生徒総会の話し合いを受け、校歌を大きな声で歌うことができるだろうかと教職員一同、見まもっておりまして。しかし、生徒会執行部が自ら楽しそうに校歌を歌う姿を見せ、全校生徒も手をつないで気持ちを一つにし、最高の校歌を歌うことができました。教職員、生徒みんなが感動した瞬間でした。企画運営した生徒会執行部、協力した生徒達、本当にお疲れ様でした。2学期の体育祭、文化祭も期待しています。



生徒会執行部の模範合唱



校長 感動！



全校生徒の心が一つになった瞬間

萩東中の教員もがんばっています！

6月25日（水）道徳の時間に、1年は「島耕作 ある日の出来事」を教材に授業を行いました。本授業は、校内の研修会で、教職員が集まって指導方法を協議した授業です。道徳は、今年度から「特別の教科 道徳」となり、「考える道徳」、「議論する道徳」への転換が求められています。生徒の道徳性を高めていけるよう、今後、教職員もしっかり研究をしてまいります。



↑ グループでの話し合い



↑ 指導に熱が入る姿